

5 おもてなしプランの作成

5.1 おもてなしルートプラン

5.1.1 おもてなしルートプラン作成地域の選定

おもてなしルートプランの設定にあたっては、行政だけでなく各地区の住民、団体及び企業等、様々な形で地域に関わる方が意見を出し合い、地域の特色を生かした「その地区ならではのおもてなしの形」を検討するほか、その実現に向かって協力し合いながら関わっていただきたいと考えています。

本計画では仮に、新駅として JR 南伊予駅が整備された南伊予地区（＝伊予小学校区：八倉、宮下、上野、上三谷、下三谷）及び抜群のロケーションで集客力の高い海岸沿い地区を参考エリアとして設定し、市民参画による一体的な地域再生を目指すための実現可能性のあるモデルプランを作成しました。

今後はこのモデルプランを基に、地域の方々と行政が協議を重ね、協働することによって、可能性の高いものから段階的に実現させていくことを提案します。

また他の地区においても同様に、関係住民が地域資源を抽出・理解し、より効果的に活用することで、市民の皆さんが主体的に来訪者におもてなしを展開できる地区を拡大していくことを目指します。



レンタル e-bike で伊予市の風と遊ぼう

5.1.2 南伊予地区の現状・課題

調査項目を現状の南伊予地区の現状・課題を整理しました。

表 5.1 南伊予地区の現状と課題

拠点等	現状	課題
JR 南伊予駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● JR 南伊予駅が新たに整備された ● JR 松山運転所車両基地、JR 貨物松山貨物駅が立地している ● JR 四国との連携で年に 1 回イベントを実施している ● 学校との連携による社会科見学会等も一部実施している ● アンパンマン号などの特急も通るため、様々な列車を見ることができ、土日は親子連れも見られる ● 農村集落を囲むように水田が広がる農村地帯 ● 松山市に近く開発圧力が強く、戸建ての住宅開発が進む 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たに整備された JR 南伊予駅周辺を観光スポットとしては十分に活用・PR されていない ● 南伊予地区、中でも JR 南伊予駅周辺は農村地帯であり、観光地としてのイメージが無い ● 農用地区域に囲まれた既存集落では雇用労働者となった世代の転出が続ぎ、地域コミュニティの維持が難しい
松山自動車道伊予灘 SA 周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● 松山自動車道伊予灘 SA が立地 ● 恋人の聖地のモニュメントが整備され、松山平野や伊予灘を見渡せる開けた眺望、伊予灘に沈む夕日、夜景が美しくデートスポットとして人気 ● 自然に囲まれた穏やかな雰囲気のカフェなどが点在 	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊予灘 SA への来訪者の立ち寄りが多いが、その周辺は人の立ち寄りがない ● 雰囲気の良いカフェなどが点在するが、観光ポイントとして情報発信されていない(店舗によって考え方が異なるため、一体的な発信は行われていない)
えひめ森林公園・谷上山周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● えひめ森林公園ではフィールドアスレチック、バーベキュー、ログハウス、キャンプ・デイキャンプなどのアクティビティが楽しめる ● 谷上山公園の展望台からの松山平野や伊予灘を見渡せる開けた眺望 	<ul style="list-style-type: none"> ● えひめ森林公園は県有施設であり、愛媛県の連携、協力が必要 ● 隣接する他市町との施策調整が必要 ● 現地までのアクセス道路が狭く、急勾配 ● 展望台への上り口がわかりにくい
ウェルピア伊予周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェルピア伊予では、ランチバイキングが人気のレストラン、Book カフェ、テニスコート、体育館、ゴルフ練習場、野球場、伊予の湯、レジャープール、大型遊具、展望台が整備されているほか、定期的なコンサートやイベントが開催されている ● 工業団地内の入居企業と、産業観光の分野で連携できないか検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェルピア伊予は指定管理施設として有効に活用されているものの、時代や社会情勢の変化に伴い、さらに多様な活用方法が求められている ● 工業団地では多くの企業が稼働しているが、産業と観光の連携には至っていない
交通・周遊環境	<ul style="list-style-type: none"> ● JR 南伊予駅が立地し、松山市まで約 10 分程度で利便性が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ● バスの乗り継ぎ利便性の確保が必要 ● 地域内を周遊する公共交通網がない ● 歴史的資源が点在しているが、案内などがなく、わかりにくい

5.1.3 南伊予地区の整備イメージの共有

前述の課題を解決するための南伊予地区の整備イメージについて、その案を整理しています。

表 5.2 南伊予地区の整備イメージ(案)

拠点	整備イメージ
JR 南伊予駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道ファンのみならず、地元住民や子ども連れの方をターゲットとする場合、食事、お土産や地元の生産品が購入できる施設のほか、遊具、トイレ等が整備されることが望ましい。 ● 子どもを連れていらっしゃるお母さんは、授乳室、おむつ替えのできるトイレや遊具などが整備された公園に多く集まっている傾向がある。 ● JR 貨物のダイヤは、深夜や早朝に列車が貨物駅に到着するようになっているため、実際に貨物列車が動いているところを子どもたちに見てもらうことは難しい。JR 貨物の了解を得ることが前提で貨物の積み下ろしなどの物流の現場を見学できるツアーを企画してはどうか。 ● 普段目にできない鉄道駅構内が見られるというのは大きなウリ。地元ならではの情報として PR することで、市内外の親子連れが集まる場となる可能性は高い。JR 四国と連携し、駅構内の施設の様子や転車台の稼働などの見学ツアープランを計画し、周知するソフト施策と一体的に実施する必要がある。 ● じゃがいも、玉ねぎなどを貨物コンテナから直接出して特価で提供する、マニア向けのグッズを提供するなどのイベントも他都市では好評である。 ● TSE という珍しい車両が JR 四国の貨物工場にある。「伊予灘ものがたり」や 2000 系の車両を払い下げしてもらえる可能性があり、車両を活用したレストランや休憩施設なども検討してみると面白いのではないかと。 ● 将来的に管理できる人が常駐する施設ができたなら、JR 南伊予駅にも e-bike のレンタサイクルやサイクルステーション等を設置してはどうか。 ● 今のままでは自転車の人は呼べない。サイクリストが魅力を感じるコンテンツを整理して、積極的に発信していく必要がある。
交通網	<ul style="list-style-type: none"> ● JR 南伊予駅やウェルピア伊予を拠点として、地域に散在するお洒落なカフェ、伊予灘 SA からの眺望、大谷池から谷上山の自然環境を楽しみながらのんびり自転車で周遊するコースを検討してはどうか。 ● このルートは初級・中級者向けとしてレンタサイクルで回ることが可能である。
広域的な連携	<ul style="list-style-type: none"> ● ソフト施策として JR 四国や伊予鉄道と連携し、共通の周遊切符などを考えると車両基地を見て、さらに JR 下灘駅にも行けるなど来訪者に喜ばれるのでは。 ● 近隣市町との広域連携とするとさらに伊予鉄道の車両基地もあり、ダイヤモンドクロスという珍しいポイントもあることから、さらに鉄道ファンには強力な魅力となる。 ● 今治～松山間はサイクルトレインが走っており、この JR 南伊予駅をサイクリストの拠点にできないかと考えている。サイクリストの拠点とすることから自動車から公共交通へのきっかけづくりをしたい。

5.1.4 南伊予地区おもてなしルートプラン(案)の作成

1) 南伊予地区おもてなしルートプラン

歴史や産業、物流などを学ぶコンテンツを活用した「学び」と豊かな自然や眺望の良いカフェ、温泉などを活用した「癒し」をテーマに観光モデルプランを提案します。

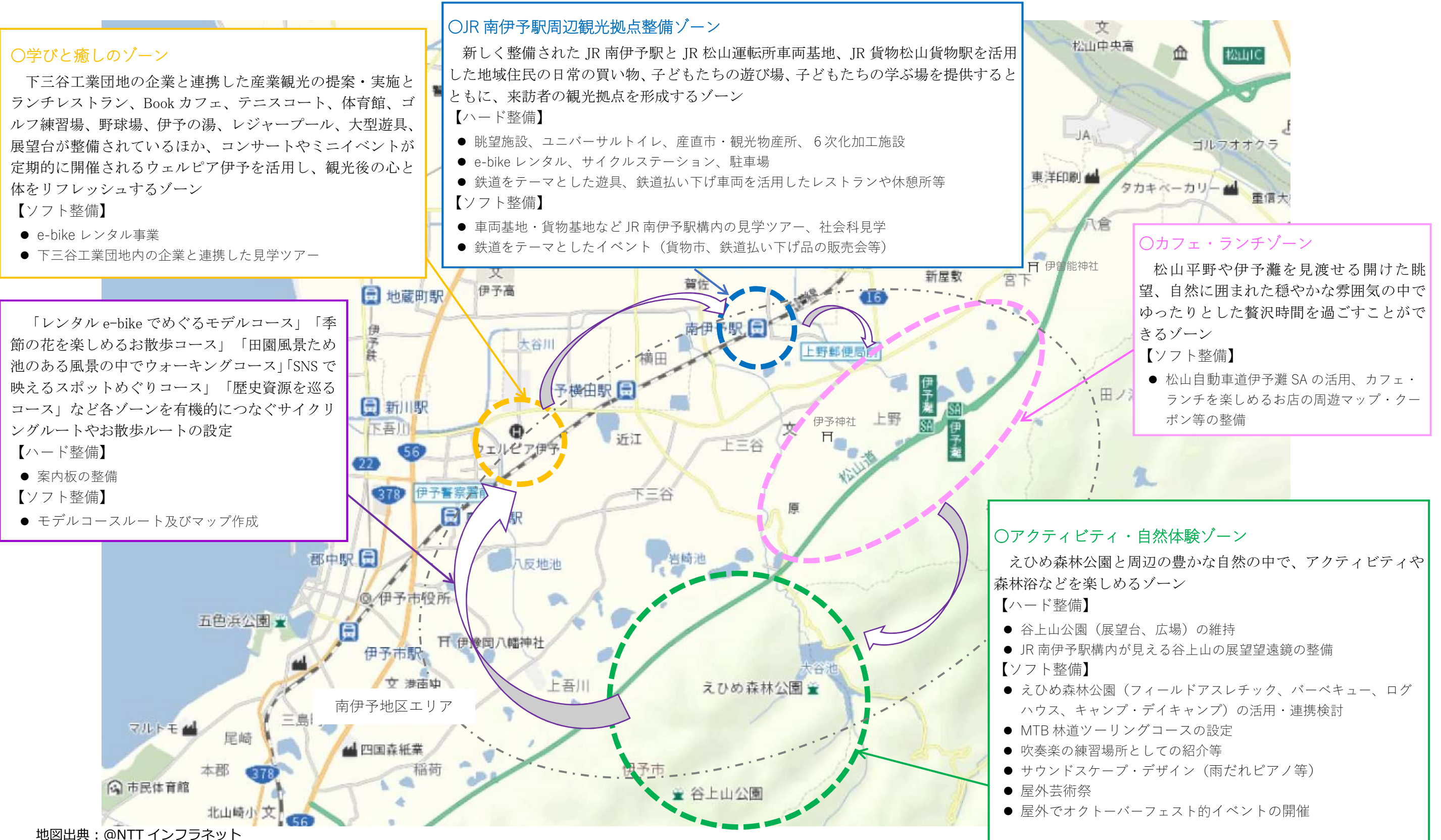


図 5.1 南伊予地区おもてなしルートプラン

5.1.5 事業メニューの整理

南伊予地区おもてなしルートプランを実行するための事業メニューと実施時期、実施主体を以下のように整理します。

表 5.3 南伊予地区おもてなしルートプランの事業メニュー

	事業名	短期	中期	長期	関係団体等
ハード整備事業	眺望施設	●			伊予市
	ふれあい広場（ユニバーサルトイレ整備）	●			伊予市
	直売所等観光施設整備（産直市・観光物産所）		●		伊予市 JA・生産者組合等
	サイクルステーション整備		●		伊予市
	ふれあい広場（駐車場整備）	●			伊予市
	ふれあい広場（鉄道の遊具整備）	●			伊予市
	払い下げ車両を活用したカフェ・レストランの整備			●	JR 四国・伊予鉄道 民間事業者
	払い下げ車両を活用した住民活動レンタルスペース整備、プラレール広場			●	伊予市 民間事業者
	谷上山公園（展望台、広場）の維持	●	●	●	伊予市
	JR 南伊予駅が見える谷上山の展望望遠鏡の整備		●		伊予市
	案内板の整備	●			伊予市
	e-bike レンタル事業	●	●		伊予市
	JR 四国・伊予鉄道ぐるりん切符		●		JR 四国・伊予鉄道 伊予市
	ソフト事業	JR 南伊予駅構内見学ツアー	●		
社会見学会		●			JR 四国
鉄道市等のイベントの開催			●		JR 四国・伊予鉄道 伊予市・民間事業者 JA・生産者組合等
松山自動車道伊予灘 SA、カフェ・ランチのできるお店の周遊マップ・クーポン整備			●		伊予市・民間事業者
えひめ森林公園（フィールドアスレチック、バーベキュー、ログハウス、キャンプ・デイキャンプ）の活用・連携検討		●	●	●	愛媛県
MTB 林道ツーリングコースの設定			●		愛媛県・隣接市町・ 伊予市・民間事業者
吹奏楽の練習場所としての紹介			●		愛媛県・隣接市町・ 伊予市
サウンドスケープ・デザイン		●			愛媛県・隣接市町・ 伊予市・民間事業者
屋外芸術祭			●		愛媛県・隣接市町・ 伊予市・民間事業者
屋外でオクトーバーフェスト的イベントの開催			●		愛媛県・隣接市町・ 伊予市・民間事業者
下三谷工業団地を活用した見学ツアー			●		伊予市・民間事業者
モデルコースルート及びマップ作成			●		伊予市・民間事業者

5.1.6 海岸沿い地区の現状・課題

調査項目を現状の海岸沿い地区の現状・課題を整理しました。

表 5.4 海岸沿い地区の現状と課題

拠点等	現状	課題
五色姫海浜公園 周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● 五色姫伝説の由来の場所 ● 海水浴場として人工砂浜が整備されており夏場は大勢の海水浴客で賑わう ● 国内有数のビーチバレーの聖地で全国大会の会場となっている ● 県内外のフラチームやハワイアンバンドなどがビーチをステージにダンスや演奏を披露するイベントが開催される ● 秋の風物詩として毎年「五色浜観月いもたき会」が開催されている ● 市指定文化財で石造の旧灯台である萬安港旧灯台が公園内にあり、明治初期からの近代建築の雰囲気を感じられる ● 五色姫海浜公園までは、JR 伊予市駅・伊予鉄郡中港駅から徒歩 13 分と徒歩圏内 ● 1894 年（明治 27 年）に建てられ、その後改築された彩浜館は伊藤博文が訪れたという記録があり、憩いの場として活用されている。 ● ヤマキ、マルトモといった本市の特産品である削り節の工場が立ち並んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏場以外の来場者が少なく、冬場は閑散としている ● 公園までのアクセスが分かりにくい ● 公園駐車場までのアクセス道路が一部狭く、車の離合に注意が必要 ● 公園内において県が所管する管理施設があり、愛媛県の理解、連携、協力が必要 ● 海水浴シーズンに駐車場が足りていない ● JR の運行本数が少なく、伊予鉄道の便数も減便されている
しおさい公園 周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● 体育館、球場、競技場、テニス場等が整備されている ● 子ども用の遊具が整備されており大型複合遊具は家族連れに人気 ● スポーツの大会が数多く開催されており、県内外から大会に参加されている ● 近隣に県の水産試験場がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● しおさい公園に公共交通を使っでのアクセスが困難 ● しおさい公園は指定管理施設として有効活用されているが、時代や社会情勢変化に伴い、運営方法に D X が必要 ● 歴史的資源が点在しているが、案内などが無いため、わかりにくい ● しおさい公園より更に南西に行けば、地引網体験ができる施設等があるが観光資源としては十分に活用・P R されていない
道の駅ふたみ 周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● 道の駅ふたみが立地 ● 海水浴場として人工砂浜が整備されており夏場は大勢の海水浴客で賑わう ● 高野川地区から道の駅ふたみにかけて年間を通して海に沈む夕日を見ることができる ● 春分・秋分の日には「恋人岬」の夕日のモニュメント中央の穴に夕日がすっぽり収まる様子を見ることができる ● 恋人の聖地のモニュメントが整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海水浴シーズンと冬場の来場者数の差が激しい ● 公園内において県が管理する部分があり、愛媛県の理解、連携、協力が必要 ● 需要は多いと思うが、道の駅ふたみから周辺を広域的に周遊できるレンタサイクルの手法が確立されていない ● 公共交通の便数が少ないため車での周遊方法に限られる ● 道の駅ふたみへの来訪者の立ち寄りが多いが、その周辺は人の立ち寄り場

	<p>され、夕日に願いをかけると幸せになれるといわれている石がありデートスポットとして人気</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テナント、産直市やお土産ものも充実しており、観光旅行の休憩やデートスポットとして人気 	<p>所が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 雰囲気の良いカフェなどが点在するが、観光ポイントとして情報発信されていない
翠小学校周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● 翠小学校は愛媛県内最古の現役木造校舎で木造学校建築の原型がわかるものとして建築的価値が高く翠地区の象徴的な存在として、地域住民に愛され続けている ● 毎年、6月に翠小学校を会場に「ほたるの里ふたみ」ほたる祭りが開催され大勢のお客さんと賑わう ● 翠小学校のすぐ近くに体験施設があり、石窯で自家製の農産物や海産物をトッピングし美味しいピザ作りが体験できると人気 ● 都会から移住されたご家族が経営されている人気のパン屋があり、古民家風の建物が洒落でショーケースに並んでいるパンはどれも美味しい ● 都会から移住して古民家をリノベーションし、ご夫婦で営むベーグル屋があり、種類豊富で体に優しく美味しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 翠地区へのアクセスがしづらい ● 年間を通じて人を呼び込める観光施設がない ● 魅力のあるお店や体験コンテンツは点在しているが観光資源としては十分に活用・PRされていない
JR下灘駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮影スポットとして人気が高い ● 有名人が多く訪れ、映画やドラマ、雑誌、CMにも度々登場している ● 周囲には何も無いが何も無いからこそ時間を忘れてのんびりと景色だけ楽しむことができる癒しの駅 ● 外国人観光客も多く訪れている ● 観光列車「伊予灘ものがたり」の停車駅 ● 毎年9月にプラットフォームをステージに「夕焼けプラットフォームコンサート」を開催し、大勢のお客で賑わう。SNSによる生配信も行っている ● 駅前にあるキッチンカー風でおしゃれな外観が特徴の珈琲屋があり、ハンドドリップで淹れられたこだわりのコーヒーが人気で、下灘駅を訪れる観光客がよく購入している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光目的に JR 下灘駅を訪れる人が多すぎる ● JR 下灘駅の駐車場が少ないことから路上駐車が多く、アクセス道路も狭いことから近隣住民からの苦情が多い ● JR 下灘駅への来訪者は多いが、その周辺は人の立ち寄る場所が少なく、観光客のほとんどが JR 下灘駅を訪れた後は市外へと向かっている ● 外国人観光客（インバウンド）への対応が不十分 ● 駅構内の使用については JR の理解、連携、協力、調整が必要 ● JR 利用者の減少に伴い JR 予讃線海回りの運行便数が減っており廃線の危機である
交通・周遊環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 双海地域には海岸沿いに JR 高野川駅、JR 伊予上灘駅、JR 下灘駅、JR 串駅と4駅あり利便性が良い ● 国道 378 号のバイパス整備により車での移動が便利になり、安全性も向上される 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内を周遊する公共交通網がない

5.1.7 海岸沿い地区の整備イメージの共有

前述の課題を解決するための海岸沿い地区の整備イメージについて、その案を整理しています。

表 5.5 海岸沿い地区の整備イメージ(案)

拠点	整備イメージ
海岸沿い周辺	<ul style="list-style-type: none"> ● 海岸沿いには、魅力ある観光施設、体験施設、カフェ、店舗が点在しているが、それぞれが結びついていないため、観光で訪れた人は目的が終われば市外へと向かう傾向にある。それぞれを結びつける工夫が必要。 ● JR 下灘駅には外国人観光客も多く訪れるため、インバウンドに対応した取り組みが必要。 ● JR 下灘駅についてはオーバーツーリズム状況であることから、JR とも協議し、入場人数の制限や入場料の徴収、入場予約制などを含めた検討が必要。 ● JR 下灘駅周辺には駐車場が少ないことから路上駐車やゴミ捨てが頻繁に繰り返され、近隣住民からの苦情も多い。地元住民、JR、警察、行政が連携し、注意喚起の看板設置や駐車禁止区域設定、駐車場整備、警備などの取り組みが必要。 ● JR と連携・調整し、観光客がお土産を購入できるグッズ等の販売を検討してみると面白い。 ● 観光客が多く来るエリアでありながら、宿泊施設が少ない。特に団体客を受け入れでき、広い年齢層に柔軟に対応できる民間事業者が経営する宿泊施設が増えればエリアの滞在時間も増えることが期待される。 ● 現在工事中の国道 378 号バイパス工事が完成すれば、車での移動は現在よりも便利になるとともに安全性も向上され、初級・中級者向けのコースとして気軽にサイクリングが可能になる。海岸沿いエリアのサイクリストが増えることが見込めることから休憩や憩いの場としてサイクルステーション機能を持たせた施設を設置してはどうか。 ● サイクリストが魅力を感じるコンテンツを整理して積極的に発信していく必要がある。 ● 夕日が沈む美しい景観を生かした誘客の仕組みが必要。 ● 観光客が多く来るエリアであることから、地元にお金が落ちる仕組みを作ること地域住民がまちづくりに参画しやすい環境が整う。 ● 海と山が連なる自然環境豊かなエリアであることから、特徴を生かした地元ならではの体験コンテンツを増やしてはどうか。
交通網	<ul style="list-style-type: none"> ● JR 下灘駅やしおさい公園を拠点として、爽やかな風を浴びながら穏やかな伊予灘の海を走り抜け、緑豊かな四季折々の自然環境を眺望し、海岸沿いエリアに散在するお店や体験コンテンツを楽しみ、のんびり自転車で周遊するコースを検討してはどうか。 ● 国道 378 号のバイパス工事の供用後は利便性と安全性が向上され、海岸沿いエリアは初級・中級者向けとしてレンタサイクルで回ることが可能である。 ● 上級者は県の自転車新文化推進計画における広域ルートでカバーできていることから、伊予市としては、計画全体を通じた自転車利用の促進に関して、初級者、中級者の利用啓発を主軸とし、普段自転車を活用しない人が自転車でカフェ巡りをしたり、季節ごとの風景や花の写真などを撮って回ったりするような利用を啓発・促進していく。 ● 駐車場の少ない観光施設が多いことから、車での移動による観光客を少しでも公共交通を使った移動に変える必要がある。市内でのレンタサイクルを普及させ、サイクルトレインを活用することで、気軽に海岸エリアを楽しめる仕組みを作れば、課題である駐車場や JR 予讃線海回り存続の危機も回避できるのではないか。 ● 市内のレンタサイクル運営方法として、観光施設事業者とも連携し、どこでも乗り捨て可能な仕組みづくりをすれば利用者が増え、気軽に海岸沿いエリアの観光地を周遊できると考える。

広域的な連携	<ul style="list-style-type: none">● ソフト施策として JR 四国と連携し、共通の周遊切符などを考えると JR 南伊予駅の車両基地を見て、さらに JR 下灘駅にも行けるなど来訪者に喜ばれるのでは。● 松山市と大洲市間でサイクルトレインが運行されており、海岸沿いエリアの駅も停車することから、JR 下灘駅としおさい公園をサイクリストの拠点にできないか。
--------	---

5.1.8 海岸沿い地区おもてなしルートプラン(案)の作成

1) 海岸沿い地区おもてなしルートプラン

海岸沿いを生かしたアクティビティなスポーツコンテンツなどを活用した「体験」と、豊かな自然の恵みから生まれる「食」をテーマに観光モデルプランを提案します。

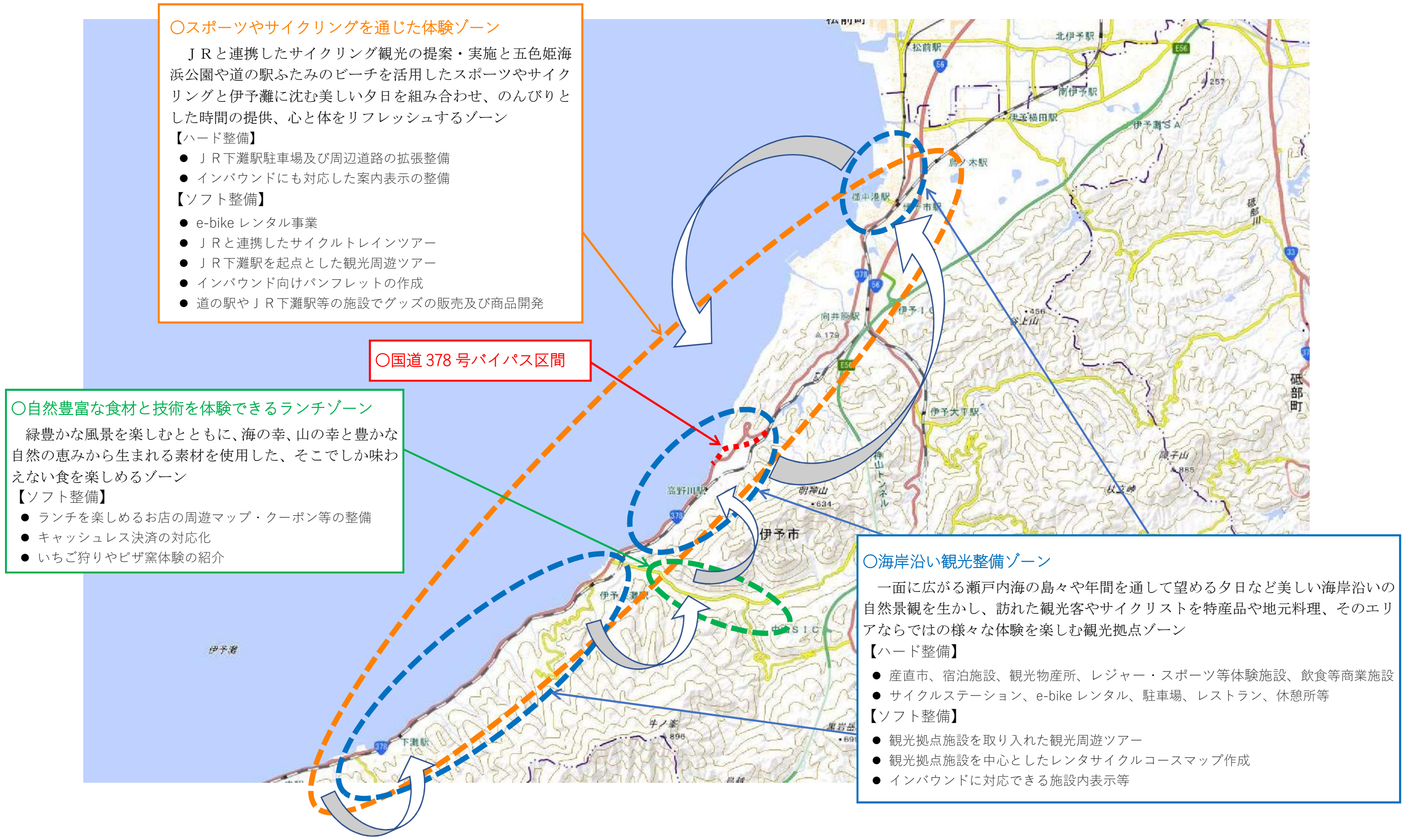


図 5.2 海岸沿い地区おもてなしルートプラン

5.1.9 海岸沿い地区おもてなしルートプラン(案)の作成

2) 海岸沿い地区(国道 378 号バイパス周辺)おもてなしルートプラン

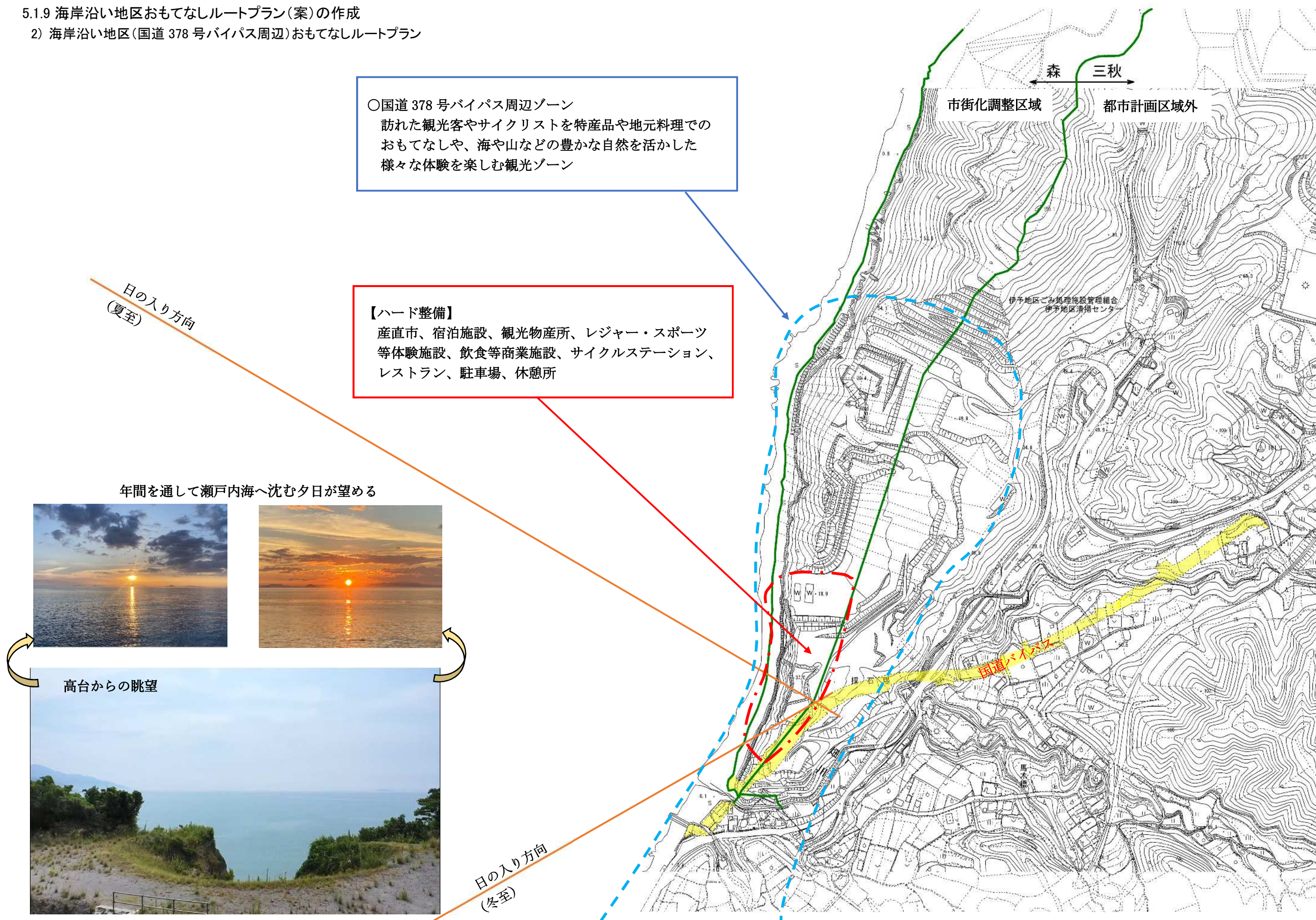


図 5.3 海岸沿い地区(国道 378 号バイパス周辺)おもてなしルートプラン

5.1.10 事業メニューの整理

海岸沿い地区おもてなしルートプランを実行するための事業メニューと実施時期、実施主体を以下のように整理します。

表 5.6 海岸沿い地区おもてなしルートプランの事業メニュー

	事業名	短期	中期	長期	関係団体等
ハード整備事業	観光拠点施設整備（産直市・宿泊施設・観光物産所・レジャー、スポーツ等体験施設・飲食等商業施設）	●	●	●	伊予市、民間事業者 JA・生産者組合等
	サイクルステーション・休憩施設の整備	●	●		伊予市、民間事業者
	案内板の整備	●			伊予市
	e-bike レンタル事業	●	●		伊予市、民間事業者
	J R 下灘駅周辺駐車場整備		●	●	JR 四国・伊予市
	J R 下灘駅周辺道路整備			●	愛媛県・伊予市
ソフト事業	観光拠点施設を取り入れた観光周遊ツアー		●		伊予市、民間事業者
	レンタサイクルコースマップの作成		●	●	愛媛県、伊予市、 民間事業者
	インバウンドに対応できる施設内表示	●			J R 四国、伊予市
	J R と連携したサイクルトレインツアー		●	●	J R 四国、伊予市、 民間事業者
	J R 下灘駅を起点とした観光周遊ツアー		●		J R 四国、伊予市、 民間事業者
	インバウンド向けパンフレット作成	●			伊予市、民間事業者
	海岸沿い地区を P R するグッズの開発と販売		●		J R 四国、伊予市、 民間事業者
	カフェ・ランチのできるお店の周遊マップ・クーポン整備		●		伊予市・民間事業者
	キャッシュレス決済への対応		●		伊予市・商工会議所・ 商工会・民間事業者
	海岸沿い地区体験コンテンツの紹介マップ作成	●			伊予市・民間事業者

5.2 おもてなし作法集

3章に記載したワークショップの結果を踏まえ、伊予市の何気ない素敵な風景や人などの情報を発信するおもてなしさんを伊予市全体に広げていくためのおもてなしの作法等を記載した「伊予市おもてなしさん手帖」を作成しました。今後市内の観光施設及び協力店舗等で積極的に設置・配布を行い、SNSを活用した情報の発信について、市民はもとより市外在住の方も巻き込んだ展開を行っていく予定です。



図 5.4 伊予市おもてなしさん手帖